

## 1. 計画概要

別紙23年度活動計画要旨による。

## 2. 会議体

## (1).総会の開催

・5月に理事会と兼ねて開催する。

## (2).理事会の開催

・5月と10月に開催する。

## (3).県レク関係

・一般社団法人として発足2年に満たないので留任を要請されたので、佐藤が理事と普及委員に留任する。

## 3. 主催・主管イベント

## ※基本スタンス

初心者に配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向し、ホスピタリティある愛好者を育て、かつ会員の資質向上を図りスムーズな世代交代を促進する。

## (1).オリエンテーリング大会の開催

- ・第39回笠岡市O大会(白石島) 4月23日(日) (済)
- ・令和5年度岡山県民O大会(県健康の森) 11月19日(日) 新見市神郷 県健康の森管理センター  
※昨年同様兼新見市民大会として健康の森利用促進協議会主催、主管県協会として運営する(無料猪汁提供)
- ・令和5年度岡山県民パークO大会(吉備中央公園) 12月10(日) 吉備中央町吉川 さんさん広場
- ・令和5年度岡山県民パークO大会(福田公園) 1月28日(日) 倉敷市福田町 水島緑地福田公園
- ・令和5年度岡山県民O大会(由加山) 3月3日(日) 倉敷市児島由加 倉敷市自然の家

※例年実施の吉備高原大会は今年度休止する。

※日程は関係先と未調整だが問題ない見込み。

※第40回笠岡市大会(白石島)は令和6年4月21日(日)で予定。

前日に絶景白石島ロゲイニング2024を木村佳司氏が実行委員長として開催し後援(実質2日間大会となる)

※練習会(大会前日にコントロール設置等の準備をする場合で準備完了後)は従来通り試走を兼ねて行う。

※参加費、事前申込者のスタート時刻指定等の要領は前年同様に行うが、アフターコロナ対応詳細検討要す。

## (2).その他イベントの開催

- ・県協会業務と運営分担の確認と見直し研修会 6月11日(日) ライフパーク倉敷
  - ・大会運営研修会
  - 第1回(全般および地図調査～OCAD作図編) 7月2日(日) ライフパーク倉敷
  - 第2回(コース設定～OCADコース作図編) 7月30日(日) ライフパーク倉敷
  - 第3回(計セン、Mulka2編) 8月27日(日) ライフパーク倉敷
- ※いずれも県協会員対象で役員改選に伴うスムーズな引継ぎが主目的。

## 4. 協力イベント

## ※基本スタンス

オリエンテーリングの普及推進を図り、スポーツ振興に寄与するため労を惜しまず随時対応する。

## (1).県レクイベント

・健康スポーツフェスティバル(9月23日祝)に出展する。

## (2).その他イベント

・従来携わってきた医療福祉関係の職員研修オリエンテーリング、初心者講座、地図読み講座、白石島トレラン運営など、実施の依頼があれば対応するが、コロナ禍が収まり依頼があるか？

## 5. その他の取り組み

## (1).Omapの作成整備

- ・県健康の森、由加山、白石島ともコース設定時に調査修正を行う。(いずれも2～3日程度)  
白石島は現地植生をOMapに合わせるスタンスなので3日程度必要見込み。(前日ロゲインとの修正合作となる)
- ・県健康の森は昨年開始した西エリアを拡大調査する。(延べ5日見込み)
- ・吉備高原は南西部の未調査エリアを図化したいが、今年度は保留。
- ・由加山は改装した自然の家内部の修正が必要だが急ぐ必要はない。また作成済「由加山村33札所観音巡り」の南エリアの 確認調査が必要だがこれも急ぐ必要はない。
- ・福田公園は工事継続中の完了次第修正する。(1日)
- ・操山の整備を今年度～来年度にかけて実施し24年度以降吉備高原と交互に開催を目指す。

- ・新見健康の森に暫定的にセミパーマネントコースを作ったが、恒久化を地元と協議検討する。
  - ・閑谷学校は来年度にかけてパーマネントコース設置とパークO開催可能な調査を行う。
- (2).全日本リレー大会への選手派遣(2/4佐賀県)
- ・連合チームおよびふるさと登録者を含めた編成も考慮しME、MS、MV、MJ、XJの派遣を目指す。
- (3).ねんりんピックへの選手派遣
- ・今年度はないが来年度滋賀県はある予定でありチーム編成して派遣できるようにしたい。
- (4).助成団体への助成申請
- ・昨年同様、JOAと岡山県レクリエーション協会への助成申請を行う(いずれも3万円の見込み)。
- (5).競技者登録
- ・従来同様推進する。
- (6).イベントディレクタ、インストラクタ更新登録
- ・引き続き県協会が更新手続きを行う。
- (7).スポーツ安全保険加入について
- ・引き続き希望者による団体加盟を継続する。(掛け金個人負担)
- (8).その他
- ・会員名簿の維持管理  
母体となる競技者登録者、認定指導者登録者の維持に努める。大会参加者に加入をアプローチする。コロナ禍が収束しつつありアフタケア的な対話を重視しながら進める。
  - ・資産の維持管理  
EMIT関連を主体とした適正な維持、および地図データ主体に確実な保全。  
OCAD最新ソフトを購入する。(チームサブスクリプション3年間で337.5SF、約5.5万円)。  
また、AndroidタブレットにOCADSketchを入れ、GNSS受信機(ビズステーション社製)を使いハイブリッド地図調査を可能とする機材の来年度導入を念頭に、次世代につながる必要な機材、情報活用方法などの調査検討を行う。  
運営スタッフ用のビズ購入を検討する。(@800~1,000で25~30着、来年度までの購入目標)
  - ・情報収集と活用  
JOAおよびFB、OrienterML等各種サイトからの随時収集と効果的な反映。
  - ・ホームページとMLの運用  
従来どおり運用する。
  - ・理事会および総会の活性化  
多くの出席者で新たなイベントの仕掛け、改善など知恵を出し合い、活性化につながる場とする。
  - ・岡山大学OLクラブへの各種支援  
可能な限りの支援を行いたいのが休眠のようである。
  - ・イベント等の広報活動  
従来同様メディア(記者クラブ含む)、行政(行政サイトおよび広報誌等)の活用、一般へのチラシ広報等の実施。  
引き続き過去の参加者に対しメールでの案内を積極的に繰り返し行う。
  - ・大会およびその他の主催・主管イベントならびに協力イベントについて  
引き続き「岡山県オリエンテーリング協会関係の大会・イベントの取り扱い」に基づき運用する。
- (9).検討課題(昨年度から継続)
- 次世代につながる各種リソース活用の為以下を重点的に検討し来年度以降の導入につなぎたい。  
なお皆様からも良い情報等ぜひ提言願いたい。(オリエンテーリング地図制作情報交換サイトは参考になりそう)
  - ・みちびき対応のGPSロガーによるより効率的な調査方法の見極め  
スケッチレイヤとか、下絵にグーグル・マップの航空写真を自動で座標合わせして取り込む機能とか
  - ・Condesとかの地図ソフトと利用方法
  - ・NaviTabiアプリを使用しての練習会、パークOの開催など
  - ・FB、twitter、youtubeなど新規広報ツールの検討
- (10).懸案事項(覚え)
- ・主催・主管イベントに基本スタンスを設けて長年取り組んできたが、なかなか成果につながらない。  
開催頻度、その質の追求に加え、イベント後を含め「仲間づくり」の視点が不足しているのかもしれない。  
以前課題として取り組み始めた「アフタケア」の問題も人手不足などからおろそかになってしまっている。  
フィニッシュ後の特に初心者レベルの参加者に感想を聞いて相談に乗ったりするフリーのスタッフもおれば次回につながる妙手になる可能性がある。ナビゲームをアレンジしてそのようなアフタケア体験の場にするようなやり方もあるかもしれない。またNaviTabiアプリを利用した練習会なども考えられる。  
組織に入って活動することのメリットをもっとアピールできるようにしたいものである。